

2016 年版 EDINET タクソノミ

コメントの概要及び金融庁の考え方

No	タクソノミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
1	開示府令タクソノミ	タクソノミ要素	<p>新規公開方式の有価証券届出書(企業内容等の開示に関する内閣府令 第二号の四様式)で、以下の要素に対応する該当なし要素が多用されます。これら該当なし要素の EDINET タクソノミへの新規要素追加を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『入札による売出し、売出しの条件(引受人の買取引受による売出し) [テキストブロック]』</li> <li>・『入札によらない売出し、売出しの条件(引受人の買取引受による売出し) [テキストブロック]』</li> <li>・『入札による売出し、売出しの条件(オーバーアロットメントによる売出し) [テキストブロック]』</li> <li>・『入札によらない売出し、売出しの条件(オーバーアロットメントによる売出し) [テキストブロック]』</li> </ul>	ご指摘を踏まえ、要素を追加いたします。
2	開示府令タクソノミ	タクソノミ要素	<p>新規公開方式の有価証券届出書(企業内容等の開示に関する内閣府令 第二号の四様式)で、以下の要素に対応する該当なし要素が多用(発生事例のほぼ全数)されます。これら該当なし要素の EDINET タクソノミへの新規要素追加を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二部企業情報、第7提出会社の参考情報の『その他の参考情報 [テキストブロック]』</li> <li>・第四部 株式公開情報、第2第三者割当等の概況の『取得者の株式等の移動状況 [テキストブロック]』</li> </ul>	ご指摘を踏まえ、要素を追加いたします。
3	開示府令タクソノミ	ラベルリンク	<p>国際会計基準要素との混同を避け視認性を増すため、経理の状況(冒頭文)における次の項目の冗長ラベルに「(JMIS)」の文言を加えていただくことを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修正国際基準により連結財務諸表を作成した場合の記載(JMIS)、経理の状況</li> <li>・修正国際基準に基づく連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組み(JMIS)、経理の状況</li> </ul>	修正国際基準については府令上の用語を指定しており、また、修正国際基準がいわゆる JMIS を指すものであることは明確であると考えております。

2016年版 EDINET タクソノミ  
コメントの概要及び金融庁の考え方

No	タクソノミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
4	特定有価証券開示府令タクソノミ	・関係リンク ・エントリーポイント	<p>2016年版 EDINET タクソノミ(案)のタクソノミは、「内閣府令(crp)」と「財務諸表本表(pfs)」のみを含み、「特定有価証券報告書(sps)」は含まれていません。2016年度提出の特定有価証券報告書を作成する際には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特定有価証券報告書(sps)」は2015年度版タクソノミを参照し、</li> <li>・「財務諸表本表(pfs)」は2016年度版タクソノミを参照する必要があると考えます。</li> </ul> <p>しかし、2015年版 EDINET タクソノミの「特定有価証券報告書(sps)」の関係リンクは、2015年度版の「財務諸表本表(pfs)」を参照している為、そのままリキャストして使用することができません。</p> <p>2015年度版と同様に「内閣府令(crp)」「特定有価証券報告書(sps)」「財務諸表本表(pfs)」の3点のタクソノミ本体とエントリーポイントを2016年版として公開していただけないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のような形でのタクソノミの公表を行った場合、改訂されたタクソノミを特定し改訂箇所を抽出する負担が生じます。利用者が、毎年多くのタクソノミを利用する場合には適しているものと思われませんが、特定のタクソノミのみを利用する場合、新たな負担が生じることから、全体としては現在の形での公表が適切であると考えております。</p>
5	勘定科目リスト	英語ラベル	<p>各ラベル(英語)において Income (loss) before 又は Income before となっているものは、各業種を通じ多数あるがすべて Profit (loss) before 又は Profit before とするべきと考えます。その後段で導かれる当期その他純利益(又は当期その他純損失)の英語が Profit (loss) 又は Profit に代わっているためです。</p> <p>なお、一般商工業 1380 行については、標準ラベルが、「匿名組合損益分配前税引前当期純利益又は純損失(△)」が Income (loss) before dividends distribution from silent partnership, income taxes となっているが、「Profit (loss) before dividend distribution from silent partnerships and income taxes」を提言します。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、英語ラベルを修正します。</p>

## コメントの概要及び金融庁の考え方

No	タクソミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
6	勘定科目リスト	英語ラベル 一般商工業	「Loss on sales of notes payable」となっていますが、「Loss on sales of notes receivable - trade」の方が正しいのではないのでしょうか。冗長ラベル(英語)も適宜修正された方が良いかと思えます。	ご指摘を踏まえ、英語ラベルを修正します。
7	勘定科目リスト	英語ラベル 一般商工業	「Payments for extra retirement payments」となっているが、payments がだぶっているので「Extra retirement payments」が自然ではないのでしょうか。	ご指摘を踏まえ、英語ラベルを修正します。
8	勘定科目リスト	英語ラベル 鉄道事業	「Operating income - lease」となっているが、「Operating expenses - lease」の誤りではないのでしょうか。その場合、冗長ラベル(英語)も修正が必要と考えられます。	ご指摘を踏まえ、英語ラベルを修正します。
9	勘定科目リスト	英語ラベル 投資業	「Rental revenue」について「Rent revenue - real estate」とすべきと思われます。また、「Rent revenue - real estate」について、「Lease business revenue」とすべきではないのでしょうか。	ご指摘を踏まえ、英語ラベルを修正します。
10	勘定科目リスト	英語ラベル 商品先物取引業	「Loss on sales of notes payable」となっていますが、「Loss on sales of notes receivable - trade」の方が正しいと思えます。冗長ラベル(英語)も適宜修正された方が良いかと思えます。	ご指摘を踏まえ、英語ラベルを修正します。